

巻 頭 言

本年度より当センターは、広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構特別支援教育実践センターとして新たな船出を迎えました。ダイバーシティ&インクルージョン推進機構は、ダイバーシティ&インクルージョンを全学的に推進し、誰もが充実感・幸福感をもって活躍できる持続可能な社会の構築に貢献するため設置されたものです。同機構は、学長のリーダーシップのもと、機構長、副機構長、ダイバーシティ研究センター、特別支援教育実践センター、アクセシビリティセンターの連携により、ダイバーシティ&インクルージョン教育と研究を通じて、学内外の多様なニーズに対応し、インクルーシブマインドをもった人材を育成し、持続可能な社会の構築に貢献することで、世界をリードするダイバーシティ&インクルージョン教育研究拠点を目指す組織です。

当センターも研究科附置施設から大学附置施設へと、これまでにない大きな変化を遂げましたが、これまで通り、特別支援教育についての基礎的・実践的な研究や教材開発を行うことや、教育相談・臨床、特別支援教育を専攻する学生への臨床指導、現職の先生方への研修を行うこと、そして関係機関と連携しながら地域の教育・福祉に寄与することを目指してまいります。一方で、特別支援教育やインクルーシブ教育に関する履修証明プログラムの開設、障害学生に限らず、様々な状況下にある多様性のある学生を全学で支える体制の強化、社会でダイバーシティ&インクルージョンを推進できる人材の育成、アジア・アフリカ地域を中心とした地域の現職の先生や教員養成課程の学生の需要に応える研修の実施など、これまでの取組に加え、新たにグローバルな社会貢献を目指してまいります。こうした取組を通じて、多様性に対するアンコンシャスバイアスを減少させ、誰もが幸福感と自信、他を慮る気持ちをもって活躍できる人材育成や社会構築の一助になることができればと考えています。

さて、今回も学内外から多くの方にご投稿いただきました。本号では、原著1編、実践研究3編、資料3編の計7編が掲載されています。ぜひご一読いただければ幸いです。

最後になりましたが、今後も引き続き、本センターへの更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月吉日

広島大学
ダイバーシティ&インクルージョン推進機構
特別支援教育実践センター長
川合紀宗